

ごみ焼却炉内清掃用集塵機

ダストツク FXN[®]

SERIES

FXN-VICO-DXN

取扱説明書



この取扱説明書は必ず読み、内容を理解してから、
本製品の運転・保守点検を行ってください。



新東工業株式会社

Sinto 新東エコテックカンパニー

目 次

■はじめに	1
■重要注意事項	
・製品使用への注意事項	2
・搬入・移動・設置の際の注意事項	2
・運転の際の注意事項	3
・保守・点検の際の注意事項	4
・設置上のご注意	5
・使用上のご注意	5
・集塵機火災についてのご注意	5
■警告ラベル貼付図	6
■各部の名称と仕様	7
■組付け要領	8・9・10
■分解要領	11
■保管要領	12
■運転準備および運転・停止	
1. 運転前に	13
2. 運転	13
3. 停止	14
4. 運転時間のリセット方法	14
■保守	
・圧縮エアーのドレン抜き手順	15
・ダイヤフラム弁の保守	15
・カートリッジエレメントの交換手順	16
・HEPA フィルタ・チャコールフィルタの交換手順	17
・ダストボックス内粉塵の排出手順	18・19
・エアバルブ用ダイヤフラム弁の交換手順	20
■定期点検表	21・22
■故障かな?と思ったら	23
■インバーター内電子サーマルのリセット手順	24
■コンプレッササーマルトリップのリセット手順	25
■消耗品について	26
■使用部品について	27
■配線図	28-35
■用語の説明	36-37
■お問い合わせ・保証について	38
■FAX お問い合わせフォーム	39

■はじめに

このたびは、ごみ炉内清掃用集塵機《ダスミック FXN-VICA-DXN》をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ☆ 本説明書は、当製品を安全に、正しく使用するための案内書です。
当製品を使用する前に、必ず本説明書を読み、運転・点検・修理を十分理解した上でご使用ください。
本説明書の記載と異なった操作などを行った場合、重大な事故に結びつくことがあります。また、本説明書をお読みになった後も、いつでも取り出して読めるように、管理監督者・操作者・点検者の見やすい所へ大切に保管してください。
- ☆ 本説明書を完全に理解できるまでは、製品の運転・保守点検を行わないでください。
- ☆ 下記の使用による事故、故障等については、当社は責任を負いかねます。
 - ・間違った操作をした場合
 - ・不適切な操作及び、不適切な管理方法をとった場合
 - ・改造を加えて使用した場合
 - ・天災、火災、爆発等による場合
 - ・その他、外部的理由による場合
- ☆ 本説明書の中には、下記に表示したような注意事項が、いろいろな場所に記載されています。これらの表示は、特に安全確保のための注意事項です。内容をよく読み、十分に理解された上で作業を行ってください。

(表示例)

⚠ 警告

この製品を不注意に使用すると重大な事故が発生することがあります。

- ☆ 本説明書の内容を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ☆ 本説明書の内容でご不明な点、お気付きの点がありましたら、当社までご連絡ください。

【製造物責任】

弊社納入品を、①警告ラベルもしくは取扱説明書に記載された遵守事項を遵守せず、自ら使用し、もしくは第三者に使用させる場合、あるいは、②事前に弊社の書面による同意を得ることなく、日本国(海外の場合はその仕向け国)外に移設して、自ら使用し、もしくは第三者に使用させる場合、③事前に弊社の書面による同意を得ることなく、修理、改造、移設して自ら使用し、もしくは第三者に使用させる場合、④事前に弊社の書面による同意を得ることなく、納入時の仕様書に記載された目的以外の用途に自ら使用し、もしくは第三者に使用させる場合、または⑤事前に弊社の書面による同意を得ることなく、納入時の仕様書に記載された使用条件範囲を超える使用方法で、自ら使用し、もしくは第三者に使用させる場合、⑥事前に弊社の書面による同意を得ることなく、第三者に譲渡する場合に、人的及び物的損害に係わる製造物責任の問題が発生したときは、かかる損害が貴社への引渡時に有していた弊社納入品の欠陥に基づいて発生したことを貴社により証明された場合を除いて、貴社の責任と負担においてこれを解決され、弊社はこの問題に関わる費用負担を免れるものとします。

【知的所有権】

- (1) 弊社納入品は、第三者の特許権等の工業所有権を侵害するものでないことを保証します。ただし、弊社納入品を使用して貴社が第三者の工業所有権を侵害された場合は、貴社の責任と負担において解決されるものとします。
- (2) 弊社納入品を日本国[海外の場合はその仕向け国]外に移設して自ら使用し、もしくは第三者に使用させる場合、または、弊社納入品を改造して自ら使用し、もしくは第三者に使用させる場合に、日本国[海外の場合はその仕向け国]外での使用、または、かかる改造に基づく知的所有権の侵害問題が発生したときは、貴社の責任と負担において解決され、弊社はこれに関わる費用負担を免れるものとさせていただきます。




⚠重要注意事項

当社製品をご使用前に、本説明書の内容を十分理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合を明らかにするために、誤った使い方をすると生じることが想定される内容を下記のように区分しています。
しかし、『注意』の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な事項ですので、必ずお守りください。



⚠危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示します。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。





⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人体に障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な注意事項(左図の場合は『感電注意』)が描かれています。
		○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止事項(左図の場合は『分解禁止』)が描かれています。
		●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中や近傍に具体的な注意事項(左図の場合は『アースを確実に取り付ける』)が描かれています。










▽製品使用への注意事項










⚠ 注意	
 決められた製品仕様以外での使用は行わない。 * 漏電・感電・爆発・火災などの原因になります。	 部品は当社で製造、または当社の承認したものを使用する。

▽搬入・移動・設置の際の注意事項







⚠ 注意	
 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガの原因となります。	 リフトや走行クレーンなどでの移送をする場合は、必ず有資格者が作業を行うこと。 * 落下・破損によりケガの原因となります。
 高所に設置する際は作業前に安定した足場を確保し、安全を確かめる。 * 転落・転倒などによりケガの恐れがあります。	 事前に当社の書面による承認を得ず、製品の改造を行ってはならない。

▽運転の際の注意事項

⚠ 警告	
 <p>本体の設置は、製品質量を考慮して、必ず水平で十分強度のある場所へ設置する。 キャスターには、必ず車輪止めをかける。 * 本体移動、横転などにより、ケガの原因となります。</p>	 <p>遠隔操作等の配線工事は、電気設備基準や内線規定に従って、有資格者が安全・確実に行う。 * 接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の恐れがあります。</p>
 <p>アースを確実に取り付ける。 * アースが取付いていないと、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。</p>	 <p>灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料など引火性のもの、また爆発の恐れのあるものの近くでは使用しない。 * 爆発や火災の原因となります。</p>
 <p>火の粉等の火種は絶対に吸引させない。 * 火災の原因になります。</p>	 <p>腐食の危険がある粉体・ガスを吸引しない。 * 故障や感電によりケガをすることがあります。</p>
 <p>濡れた手で、電源プラグや、スイッチ・配線などの電気回りにさわらない。 * 感電によりケガをすることがあります。</p>	 <p>異常と疑われる状態のまま運転しない。 * 故障によりケガをすることがあります。</p>
 <p>水、油などをかけない。 * 漏電・火災の原因になります。</p>	

⚠ 注意	
 <p>電源コードについて、下記行為は禁止。 ・重いものを載せる。 ・物の間に挟み込む。 ・コードを傷つけたり破損させる。 ・コードを加工したり、折り曲げる。 ・無理に引っ張る、ねじる、束ねる。 ・通路や作業場所を横切って設置する。 * 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。</p>	 <p>運転前に、機械の内部、危険区域に人がいないことを確認する。 * 事故・ケガをする恐れがあります。</p>
	 <p>雨水のかかる場所では使用しない。 (屋外型は除く) * 感電・漏電・火災・故障の原因になります。</p>
	 <p>吸引口に手足や指を入れない。 * ケガの原因になります。</p>
 <p>温度の高い場所(40℃以上)では使用しない。 * 火災の原因になります。 (使用雰囲気温度範囲は 0~40℃です。)</p>	 <p>本体運転中は本体可動部にさわらない。 * ケガをする恐れがあります。</p>
 <p>銘板に記載された電圧以外で使用しない。 * 感電、ショート、発火の原因になります。</p>	 <p>非常の場合は運転を停止し、電源をすみやかに遮断する。 * 2次事故を起こす可能性があります。</p>
 <p>本説明書が完全に理解できるまでは、当製品の操作を行わない。 * 誤操作による、ケガの恐れがあります</p>	

▽保守・点検の際の注意事項

⚠ 注意	
 <p>本説明書に記載されている注意事項や、機械に貼付けられた警告ラベル、注意銘板の指示に従って行う。 * 死亡事故や、ケガの恐れがあります。</p>	 <p>保守・点検の際は保護具を着用する。 (手袋、防塵マスク、防塵メガネなど) * ケガ、手荒れ、炎症の恐れがあります。</p>
 <p>電源を遮断する。 * 死亡事故や、感電、ケガの恐れがあります。</p>	 <p>修理技術者以外の方は、分解・修理しない。 * 故障・破壊の恐れがあります。</p>
 <p>高所に設置している場合は、作業前に安定した足場を確保し、安全を確かめる。 * 転落・転倒によりケガをする恐れがあります。</p>	 <p>静電気に注意する。 * 火災、爆発の恐れがあります。</p>

▽設置上のご注意

1. 設置は、振動や衝撃のかからない水平な場所にしてください。
製品質量を考慮して十分な設置強度を確保してください。
2. 本体の吊り下げは天井部のアイプレートにて必ず4点吊りで行ってください。
吊り上げる際は安全を確かめて、慎重に作業してください。
3. 吸引口への配管は、フレキダクト等を使用して、できる限り曲がりを少なくなるように配管してください。
ダクトの接続部は外れないようにバンドにて固定してください。
4. 電源は、3相200V/50Hz、220V/60Hz 以外は使用しないでください。
5. 払い落とし用の圧縮エアは減圧弁にて0.5MPaに設定してください。
6. 負荷が軽い場合、電動機がオーバーロードする可能性があります。その場合、ダンパにて調整してください。
7. 電源コードは、4芯キャブタイヤコードを用いています。緑被覆線はアース用ですので必ずアースをとってください。

▽使用上のご注意

1. 腐食、爆発、引火等の危険性のある粉体及びガス等は吸引しないでください。
2. たばこの吸殻等、火種を吸い込みますと、焼損しますので絶対に吸わせないでください。
3. グライNDER、高速切断機等で、火花を吸引する恐れがある場合は、吸い込み防止する装置が必要です。お買い求めの販売店又は、最寄の営業所へご相談ください。
4. ダストカーに溜まった粉塵は定期的に取り出してください。
満杯で運転を続けるとカートリッジフィルタを傷める原因となります。
また吸引風量低下の原因にもなります。
5. 本体天板上部・排気方向には障害物がないこと。
1m以上、空けてください。(保守・点検・修理作業を行う際に便利です。)
6. 感電防止のため、必ずアースを接続ください。
7. 本体内部の水洗い、注水は厳禁。

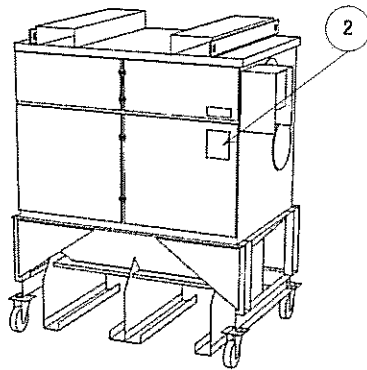
▽集塵機火災についてのご注意

1. 集塵機火災は条件によって全て発生し得るという認識に立ち、運転、保守管理を行うこと。
2. 次の物質は吸引しないこと。
 - ・ 引火性物質 (ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油など)
 - ・ 爆発性物質 (アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシなど)
 - ・ 火花を含んだ粉塵
 - ・ 火種 (タバコの吸殻など)
 - ・ その他 (オイルミストなど)
3. 火災発生時の処理
排気より煙が出ている、集塵機壁面温度が異常に高い、排出ダストが燃焼している、など火災発生の状況がみられた場合は、以下の行動をとること。
 - ・ 即刻集塵機を全停止すること。
 - ・ 自然鎮火するまで危険なので近寄らないこと。
 - ・ 自然鎮火するまで扉、点検蓋等一切開けないこと。
 - ・ 自然鎮火後ダストを排出すること。
 - ・ 自然鎮火後残り火を発見した場合、もう一度扉を閉め鎮火を待つか、適した消火剤で消火すること。

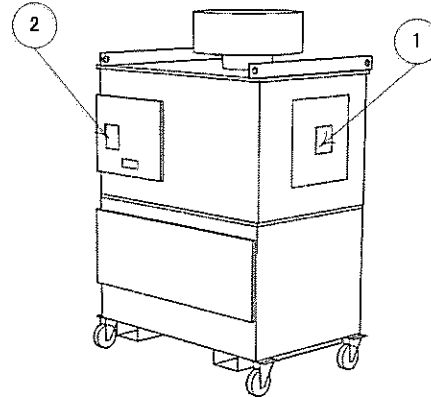
■警告ラベル貼付図

▲注意

これらの警告ラベルは、定期的に点検・清掃し、常にはっきりと見えるようにしておいてください。また、ラベルのはがれ、破れを見つけた場合は、新しいラベルと交換してください。発注・交換は弊社までご連絡ください。



集塵機



2次フィルター

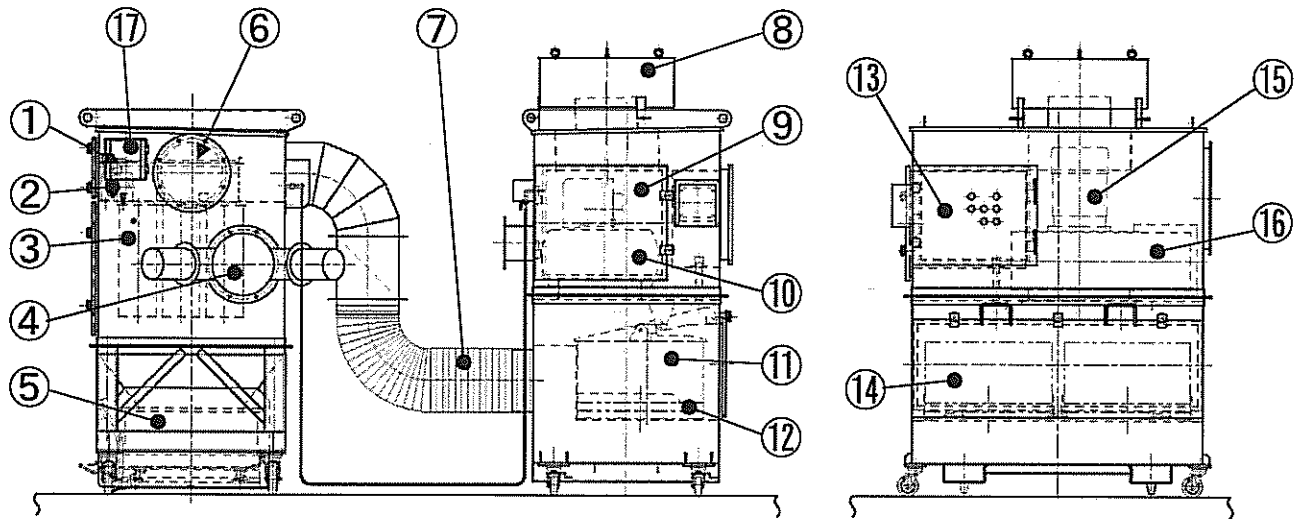
①

警告
<p>運転中は危険につき、絶対に蓋を開かないでください。 開けるときは必ず運転停止をして、メイン電源を切ってください。</p>

②

<p>▲ 運転中には</p> <p>本機の取扱説明書に従ってください。 絶対に蓋を開かないこと。 直接火花を吸い込まないこと。 タバコの火を吸い込まないこと。 水・油等をかけないこと。 爆発の恐れがある危険物に使用しないこと。 火災発生時は電源を切り、消火のこと。</p>	<p>▲ 注意</p> <p>電気配線を傷つけたり破損させないこと。</p>
<p>▲ 点検中には</p>	
<p>必ず、電源を切ってから行うこと。</p>	<p>防じんマスク、保護メガネ、軍手を着用すること。</p>
<p>安全な作業床を充分確保すること。つまずき・転落等の恐れあり。</p>	<p>部品の扶まれ、突起物でのけがの恐れあり。</p>

■各部の名称と仕様



番号	名称	FXN-VICO-DXN
-	電源	三相交流 200V/50・60Hz 220V/60Hz
-	基準風量	70 m ³ /min
①	パイロットバルブ一体型エアバルブ	4 個
②	ヘッドパイプ	-
③	カートリッジエレメント	ポリエステル成形フィルタ
	本数	12 本
	濾過面積	41 m ²
④	吸引口	φ148 × 2個、φ298 × 1個
⑤	ダストカー (ダストボックス)	70L × 2個
⑥	マニホールド	4 本
⑦	接続ダクト	φ300
⑧	排気雨カバー	-
⑨	コンプレッサ点検扉	-
⑩	コンプレッサ	0.4 kW
⑪	HEPA フィルタ	2個
⑫	チャコールフィルタ	2個 (4個セットも可能)
⑬	操作パネル	-
⑭	フィルタ交換用点検扉	-
⑮	モータ	5.5 kW
⑯	ターボファン	75m ³ /min × 2.45kPa
⑰	差圧計	0 ~ 3.0 kPa
-	圧縮エア標準消費量	24 L/min (N.T.P.)

■組付要領

⚠注意

- ☆安全のため、1次電源にブレーカを設置してください。
- ☆必ず注意事項を守って操作してください。(→『重要注意事項』)
- ☆運転の前に、必ず定期点検を行ってください。(→『定期点検表』)
- ☆異常な状態のままでの運転は絶対にしないでください。(→『故障かな?と思ったら』)

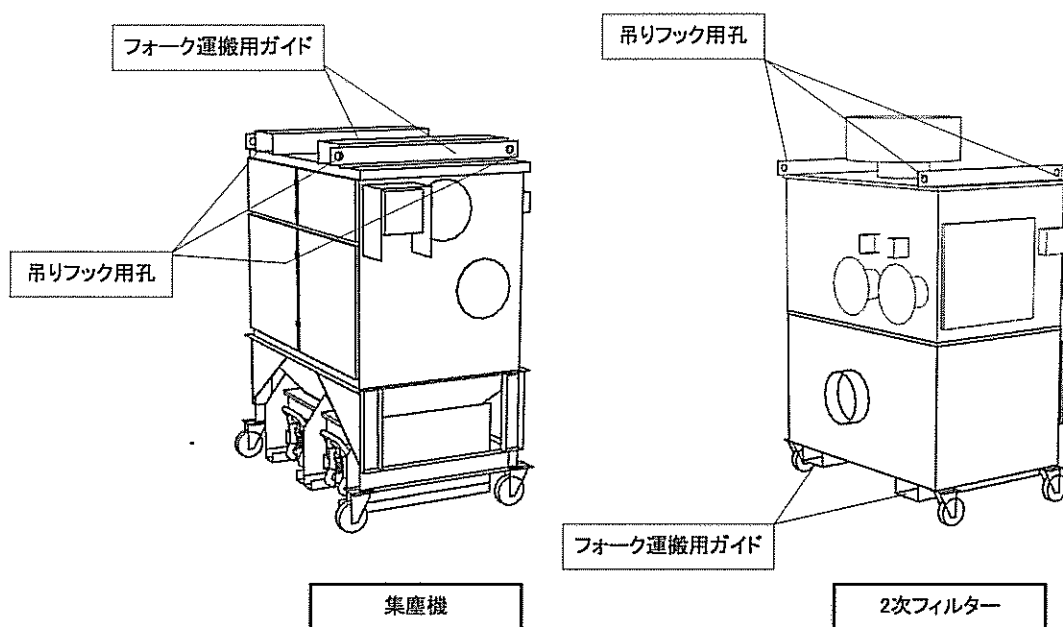
1. 設置の前に

以下の項目をご確認ください。

- 1) 集塵機にエレメントが正しくセットされていること。
- 2) 集塵機のダストボックスの中に異物がないこと。
- 3) 2次フィルタのチャコールフィルタと HEPA フィルタが正しくセットされていること。

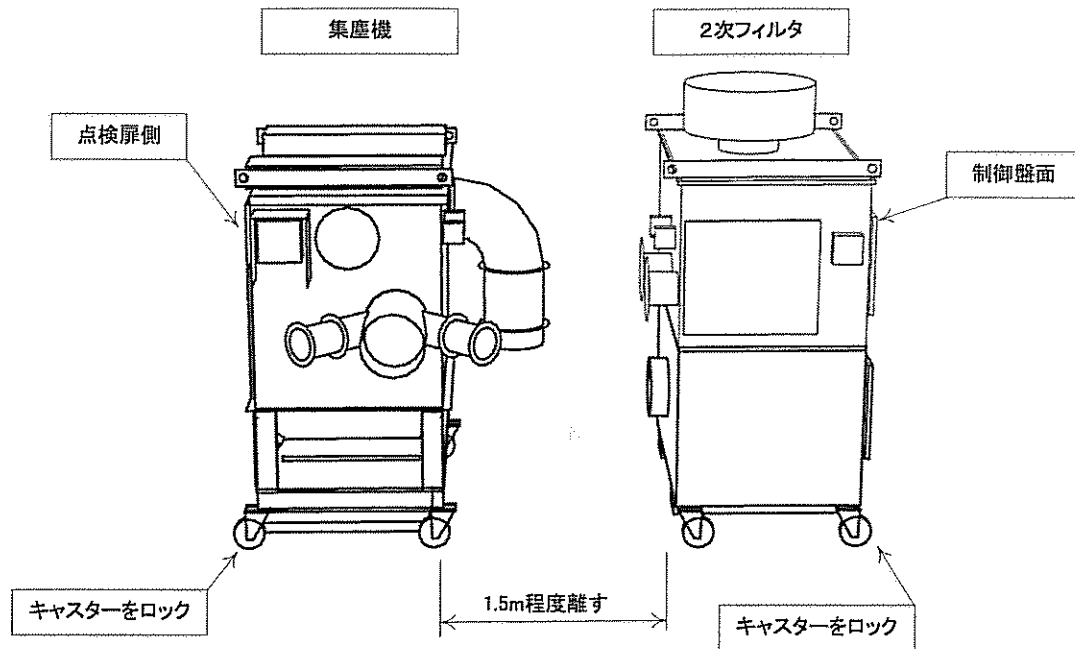
※1 集塵機、2次フィルタを移動する場合は下図の様、天井部の吊フック用孔に吊り具を掛けるか、集塵機上部、2次フィルタ下部にあるフォークリフト用ガイドにフォークリフトの爪を差して運搬してください。

※2 フック吊りする場合は、必ず4点掛けとしてください。

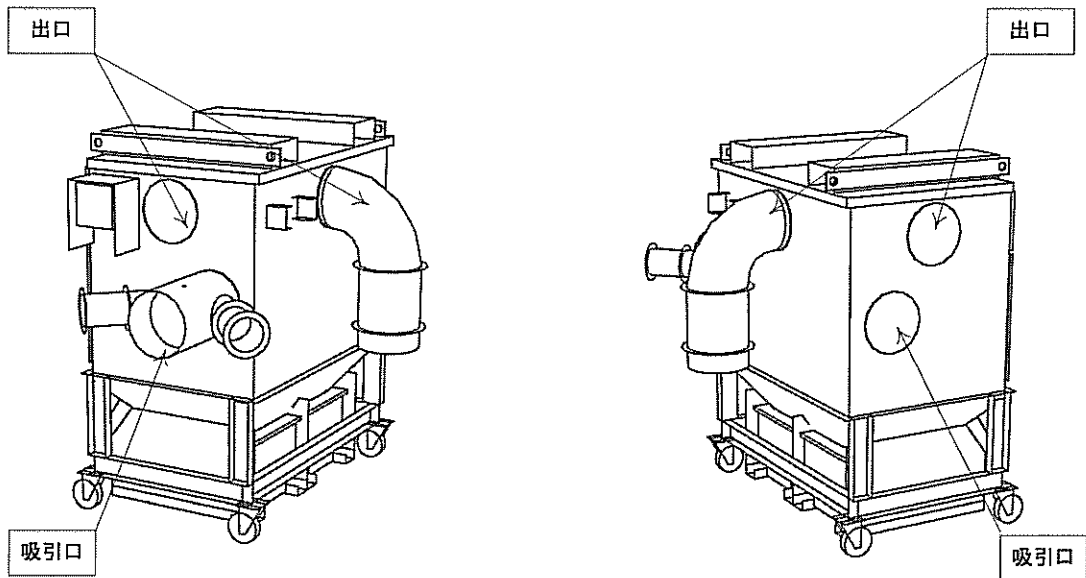


2. 設置方法

- 1) 集塵機、2次フィルタを平らな床に設置してください。
集塵機と2次フィルタは1.5m程度離してください。
設置後キャスターをロックしてください。



- 2) 集塵機の吸引方向は2方向、集塵機の出口方向は3方向より選択できます。
吸引及び出口方向を変更したい場合は、ダクトを組み付け位置を変更してください。
出口ダクトは必ず下向きに設置してください。



- 3) 吸引部から集塵機吸引口をダクトで接続してください。
- 4) ダクトは必ずホースバンドで固定してください。
※吸引口はφ150×2式又はφ300×1式で使用してください。
φ150×2式とφ300×1式を同時に使用すると、吸引ダクト内部にダストが堆積する恐れがあります。
- 5) 集塵機出口と2次フィルタ入口を接続ダクトにて接続してください。
ダクトは必ずホースバンドにて固定してください。

6) 制御盤内部のブレーカーOFFを確認してください。

7) 2次フィルタの制御線を集塵機配線部に接続してください。

※配線の接続・ロックを確実に行わないと配線に水が浸入し漏電の恐れがあります。

8) 2次フィルタのエア配管を延ばし、集塵機エア配管部に接続してください。

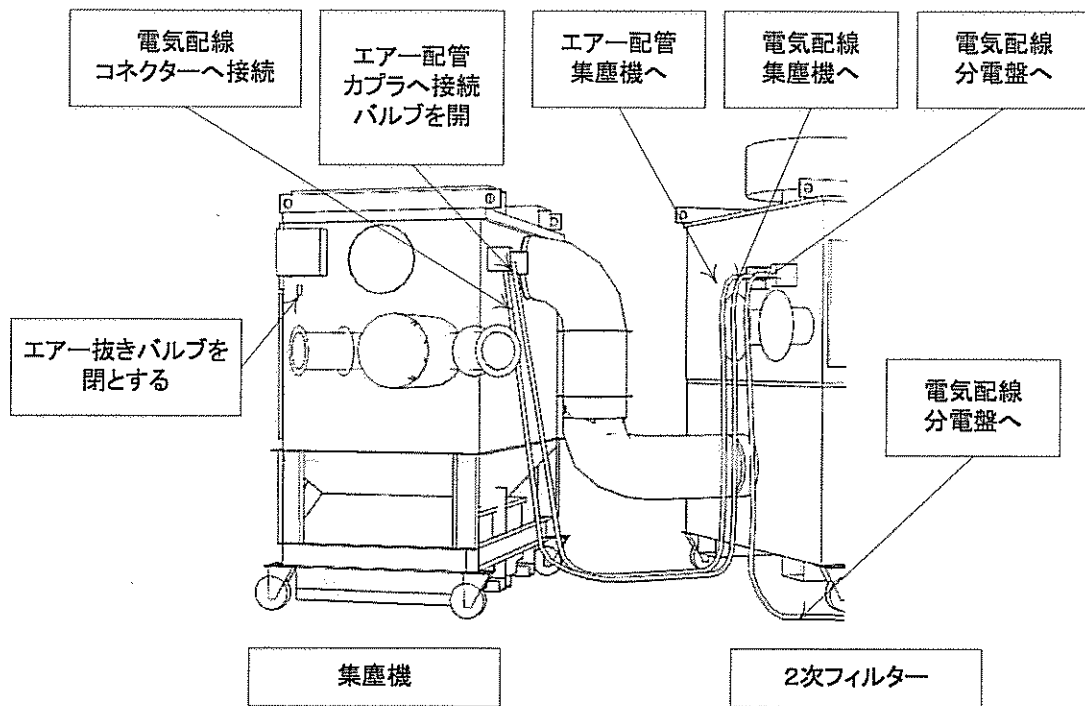
接続後バルブを開いてください。

エア抜きバルブが閉となっていることを確認してください。

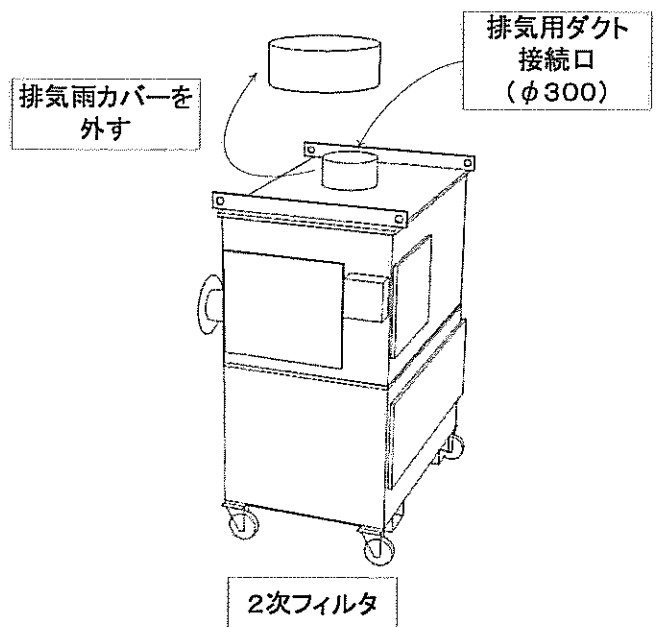
9) 2次フィルタの配線巻きつけ座に巻きつけてある電線を延ばし、電源へ接続してください。

※配線を巻きつけ座に巻きつけたまま運転しないでください。

巻きつけたまま運転すると電線が焼ける恐れがあります。



※ 離れた場所に排気ガスを排気する場合は、2次フィルタの排気雨カバーを外して排気ダクト接続口へ排気ダクトを接続してご使用ください。

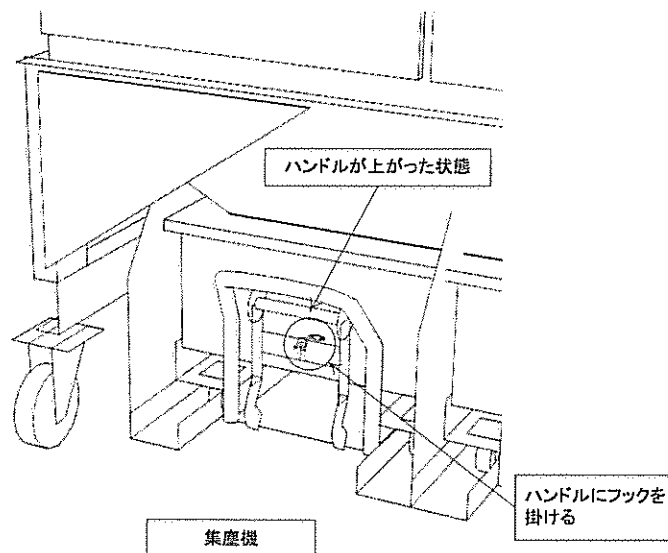
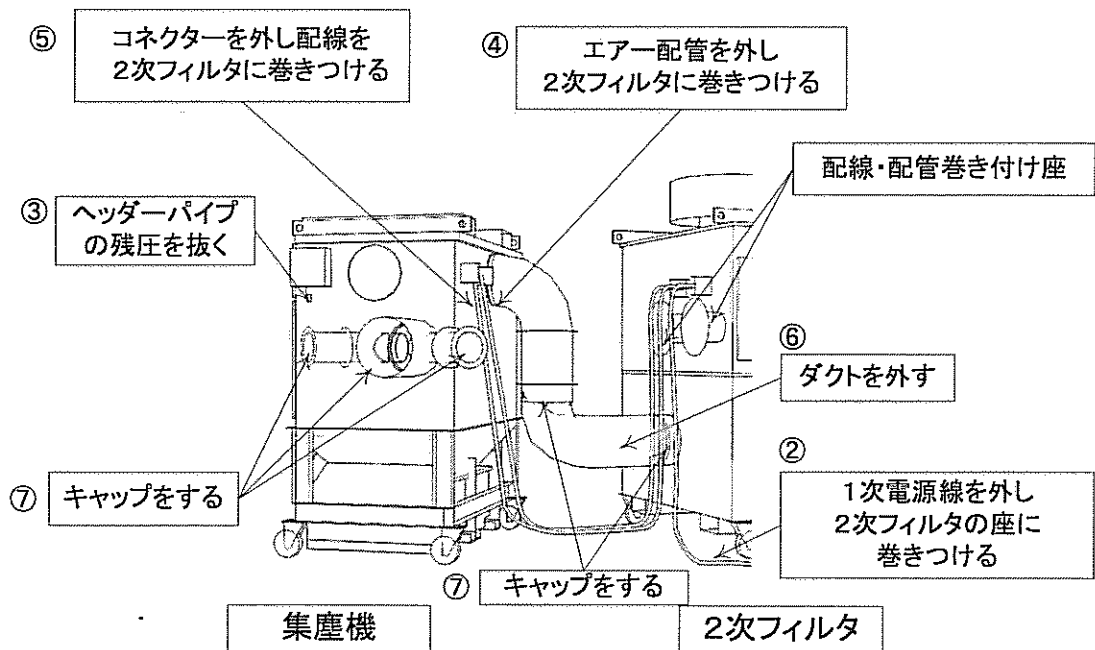


■ 分解要領

⚠ 注意

- ☆安全のため、1次電源にブレーカを設置してください。
- ☆必ず注意事項を守って操作してください。(→『重要注意事項』)
- ☆運転の前に、必ず定期点検を行ってください。(→『定期点検表』)
- ☆異常な状態のままでの運転は絶対にしないでください。(→『故障かな?と思ったら』)

- 1) 1次電源及び制御盤内ブレーカーの OFF を確認してください。
- 2) 1次電源線を外し、2次フィルタ本体の配線巻きつけ座に巻きつけてください。
- 3) 集塵機側の残圧排気バルブを開き、ヘッダーパイプの残圧を抜いてください。
- 4) エアー配管を集塵機から外し、2次フィルタ側の配線巻きつけ座に巻き付けてください。
- 5) 制御配線を集塵機から外し、2次フィルタ側の配線巻きつけ座に巻き付けてください。
- 6) 吸引ダクト、排気ダクトを外してください。
- 7) 集塵機、2次フィルタのダクトにキャップを取り付けてください。
- 8) ダストカーのフックを固定してください。



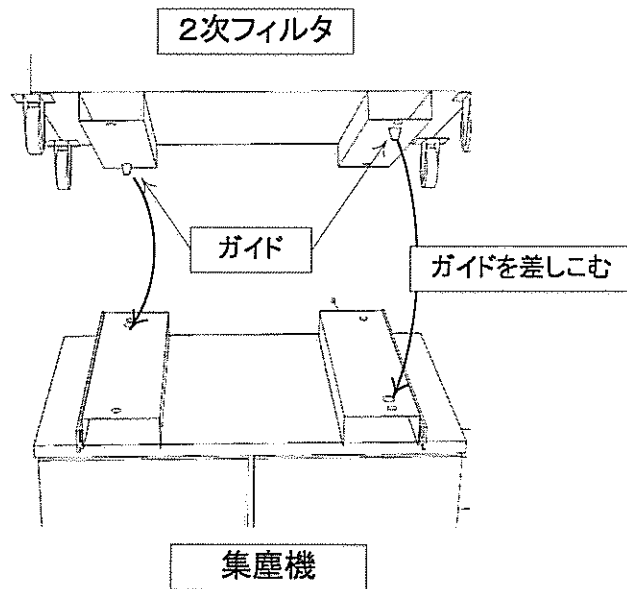
■ 保管要領

集塵機と2次フィルタは積み上げて保管できます。

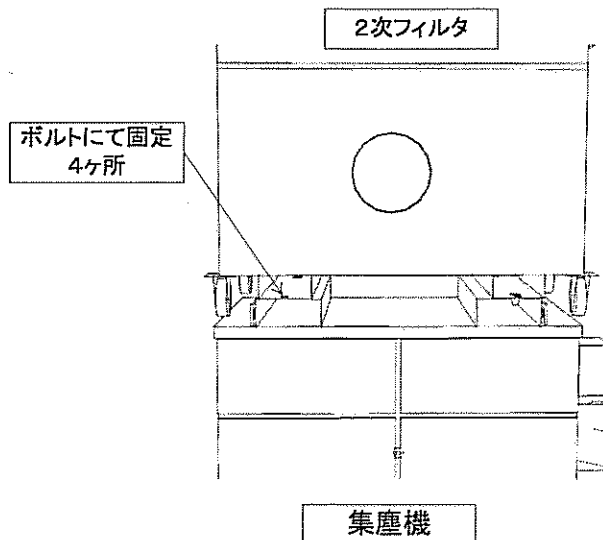
⚠ 注意

- ☆集塵機と2次フィルタを積み上げた場合は必ずボルト4本にて固定すること。
- ☆積み上げた場合は必ず転倒防止を行うこと。

- 1) 2次フィルタを集塵機の上部に積み上げてください。
2次フィルタ下面にあるガイドを集塵機上部の孔に刺さる様セットしてください。



- 2) 2次フィルタを集塵機の上部に積み上げ後、ボルト×4本にて組み付けてください。
組み付け後、転倒防止処置を行ってください。
※キャスターのロックでは転倒防止は行えません。



■ 運転準備および運転・停止

▲ 注意

- ☆必ず注意事項を守って操作してください。(→『重要注意事項』)
- ☆運転の前に、必ず定期点検を行ってください。(→『定期点検表』)
- ☆異常な状態のままでの運転は絶対にしないでください。(→『故障かな?と思ったら』)

1. 運転の前に

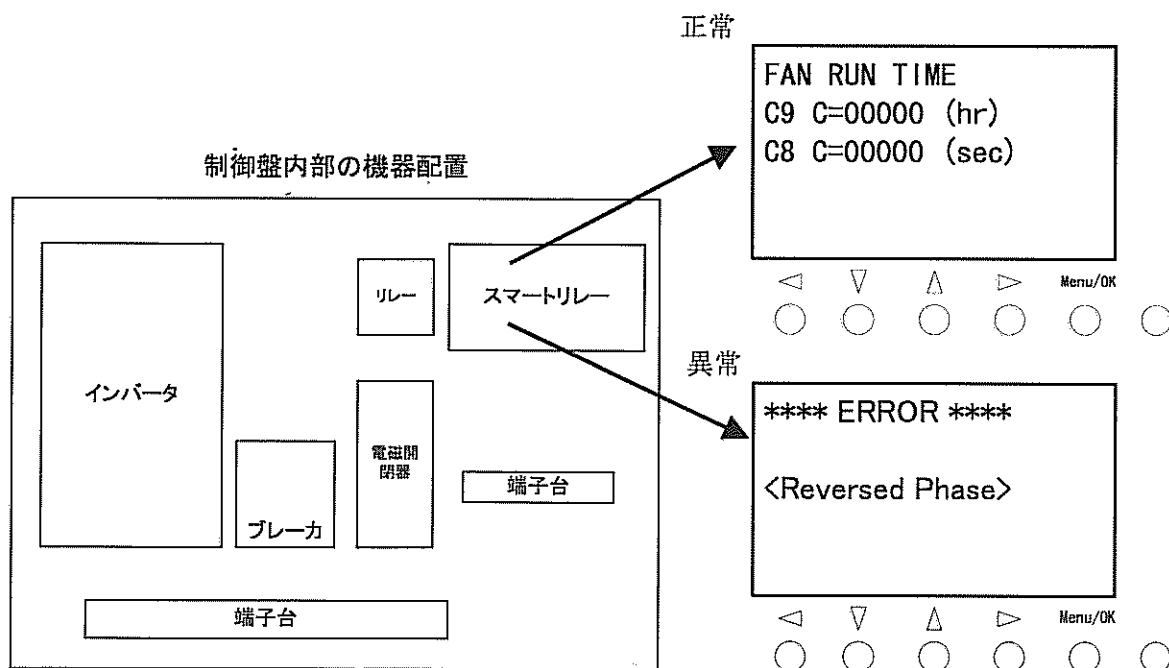
以下の項目をご確認ください。

- 1) 電源コードが正しく接続されていること。
- 2) アースが正しく接地されていること。
- 3) エレメントが正しくセットされていること。
- 4) HEPA フィルタ、チャコールフィルタが正しくセットされていること。
- 5) ダスターの中に異物がないこと。
- 6) ダスターが正しくセットされていること。
- 7) 接続ダクトが正しく接続されていること。

2. 運転

- 1) 操作パネルの『機器』セレクトスイッチを「自動」、『コンプレッサ』セレクトスイッチを「OFF」、『パルス』セレクトスイッチを「OFF」にしてください。
- 2) 制御盤内メイン電源を入れてください。

制御盤面の異常ランプが点灯した場合、1次電気配線が逆相に接続されている可能性があります。制御盤面を開き、スマートリレーに



異常画面が表示されていた場合は、1次側の電源を切り配線を入れ替えてください。

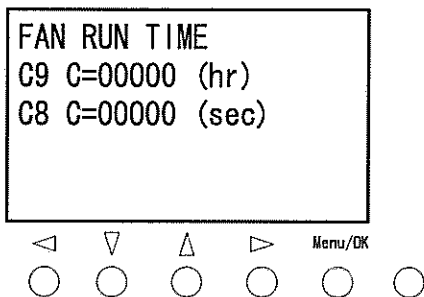
- 3) 操作パネルの『送風機-運転』スイッチを押してください。
ファン、コンプレッサ、払い落としが開始します。
※ 運転開始直後はコンプレッサタンク内のエア圧力が低い場合があります。
この場合、運転開始5分程度は払落としが正常に行われません。コンプレッサタンク内エア圧が上昇すると、正常に払落としを行うようになります。
払い落とし動作確認は運転開始後5分以上経過してから行ってください。

3. 停止

- 1) 操作パネルの【送風機-停止】ボタンを押してください。
ファン、コンプレッサ、払い落としが停止します。

4. 運転時間のリセット方法

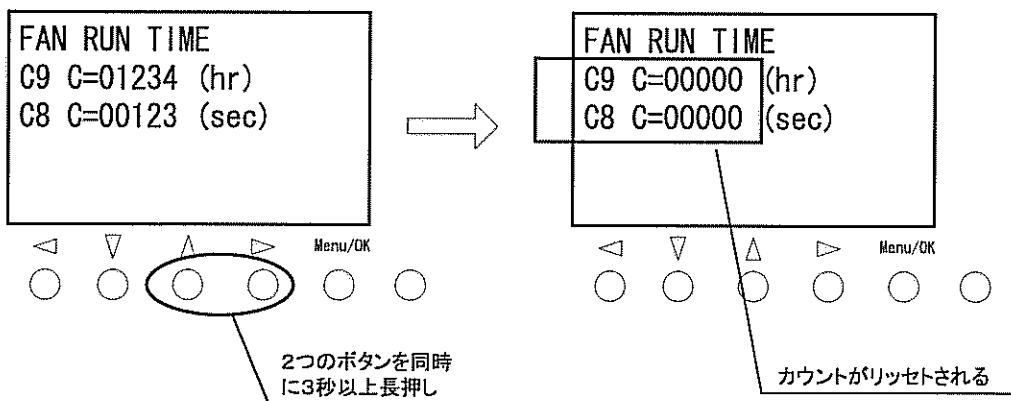
- 1) 制御盤面を開いてください。
2) 制御盤内部のスマートリレーに送風機の累計運転時間が表示されています。



送風機の累計運転時間をリセットする場合はスマートリレーの▲キーと▶キーを同時に3秒以上押してください。

※一度リセットするとリセット前の累計時間は元に戻りません。

※最大累計時間は 30,000 時間です。



■保守

【作業の前に】

⚠注意

☆必ず注意事項を守って作業してください。(→『重要注意事項』)
☆必ず保護具(手袋、防じんメガネ、防じんマスク)を着用してください。

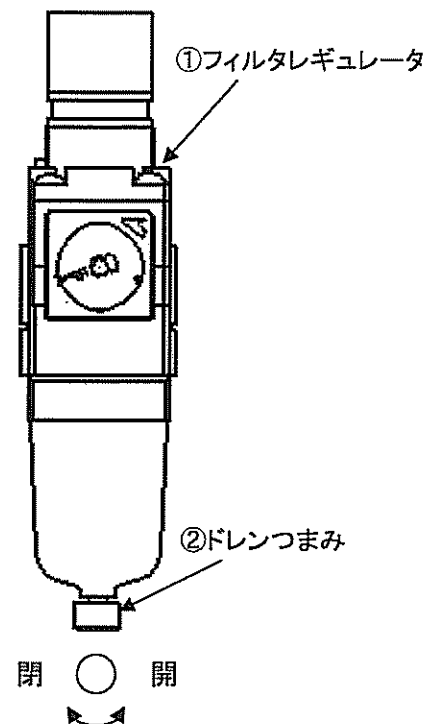
【圧縮エアーのドレン抜き手順】

フィルタレギュレータにドレンが溜まってくる事があります。
下記要領でドレン抜き(週1回程度)をしてください。

1. エアーの供給を停止してください。
2. ドレン受皿をフィルタレギュレータ(①)の下に置いてください。
3. フィルタレギュレータの下部のつまみ(②)を左に回してドレンを抜きとってください。

※この時、つまみはゆっくり回してください。
圧縮エアーによりドレンが飛散することがあります。

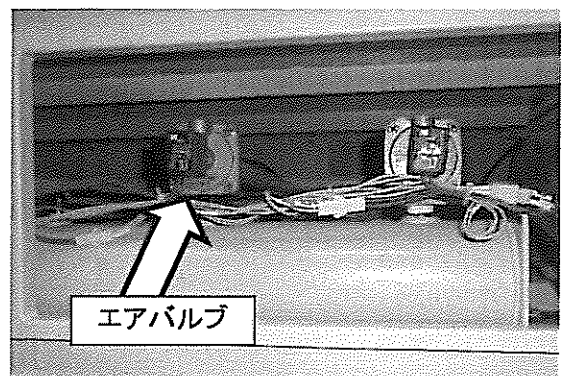
4. つまみを右に回し、締めてください。
5. エアーを供給してください。



【ダイヤフラム弁の保守】

※エアバルブ内にあるダイヤフラムは、1年を毎に
定期交換をお勧めします。
ダイヤフラムの交換手順はp.20をご参照ください。

お買い求めの販売店または弊社支店・営業所まで
お問い合わせください。



【カートリッジエレメントの交換手順】

- ※ カートリッジエレメントは2000時間を目安として交換してください。また、点検時に破損がみられた場合には、速やかに交換してください。
- ※ カートリッジエレメントが破損しダスト洩れが起こると、HEPA フィルタ、チャコールフィルタの目詰まりが発生していることが考えられます。カートリッジエレメント破損による交換時には、HEPA フィルタ、チャコールフィルタの交換も同時に行ってください。

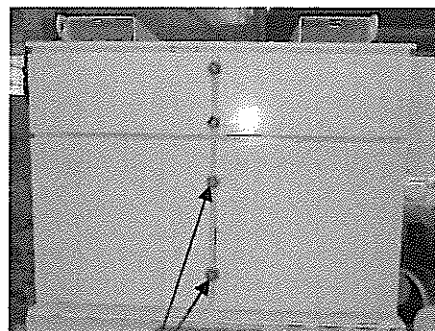
⚠ 注意

必ず主電源を切り、ファンが完全に停止してから行うこと。

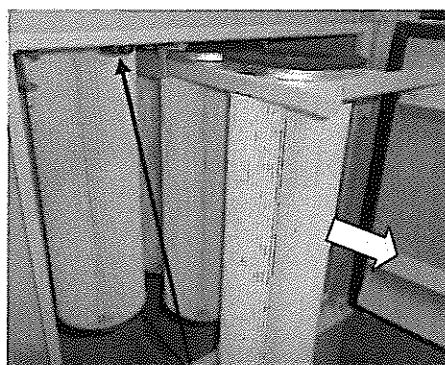
カートリッジエレメントを取り扱う際には必ず手袋、防塵メガネ、防塵マスクを着用すること。

手に怪我をする恐れがあります。
粉塵が目や口に入る恐れがあります。

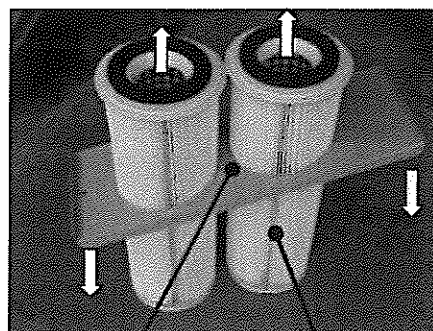
1. ノブボルト(①) (2ヶ所)をはずして点検扉を開けてください。
2. ノブスター(②)をはずし、フィルタ枠(③)とカートリッジエレメント(④)を引き出してください。
3. フィルタ枠(③)から、カートリッジエレメント(④)を引き抜き、新しいカートリッジエレメントに交換してください。
4. フィルタ枠(③)とカートリッジエレメント(④)を、レールに沿わせ奥まで押し込み、ノブスター(②)で固定してください。この時、カートリッジエレメントのパッキンがしっかりと押さえつけられるように締め上げてください。
5. 点検扉を閉め押さえ板を挟んでノブボルト(①)でしっかりと締め込んでください。



①ノブボルト

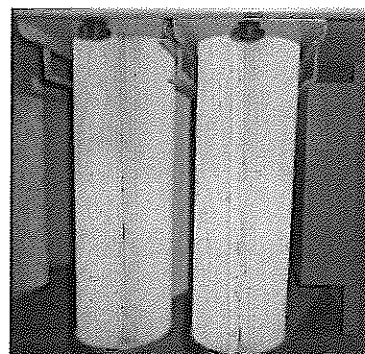


②ノブスター



③フィルタ枠

④カートリッジ
エレメント



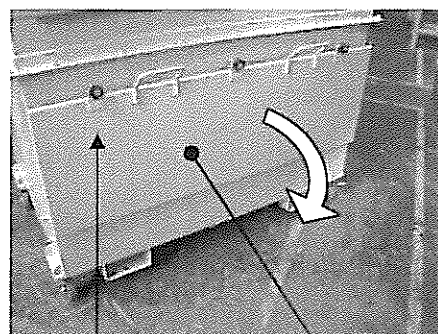
【HEPA フィルタ、チャコールフィルタ交換手順】

⚠ 注意

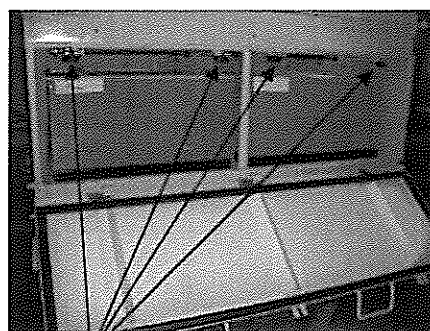
作業中は必ず電源を切ること。
HEPA フィルタ、チャコールフィルタを取り扱う際には、必ず手袋、防塵メガネ、防塵マスクを着用すること。

手に怪我をする恐れがあります。
粉塵が目や口に入る恐れがあります。

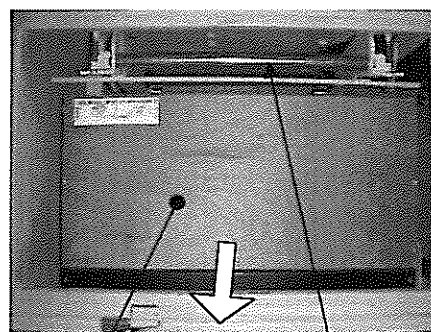
1. ノブボルト(①) (3ヶ所)を外し、点検扉(②)を開けてください。
2. HEPA フィルタ、チャコールフィルタを固定しているノブボルト(③) (4ヶ所)を外してください。フィルタ押さえ(④)が外れます。
3. HEPA フィルタ(⑤)を引き出してください。
4. チャコールフィルタ(⑥)を引き出してください。
5. 新しいチャコールフィルタを機器奥まで押し入れてください。
※チャコールフィルタを2段にセットする場合はスペーサー(⑦)を外して取り付けてください。外したスペーサーは紛失しないよう保管してください。
6. 新しいHEPA フィルタを機器奥まで押し入れてください。
7. フィルタ押えバーを引き上げ、ノブボルト(③)で固定してください。
8. 扉を閉め、ノブボルト(①)で固定してください。



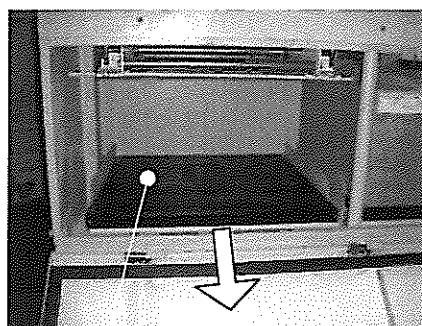
①ノブボルト ②点検扉



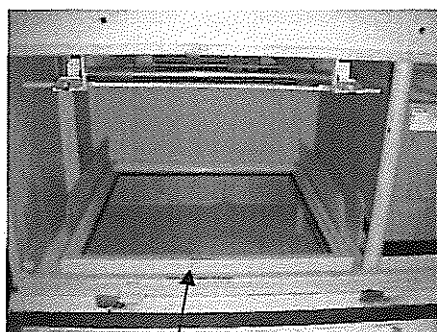
③ノブボルト



⑤HEPA フィルタ ④フィルタ押え



⑥チャコールフィルタ



⑦スペーサー

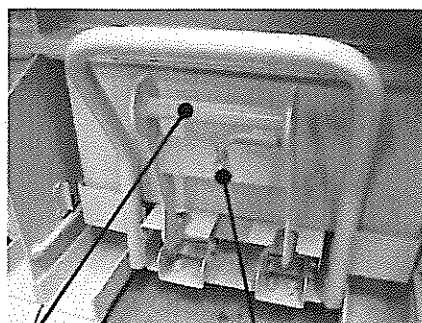
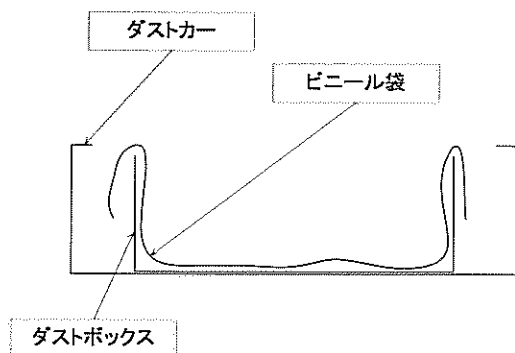
【ダストボックス内粉塵の排出手順】

⚠注意

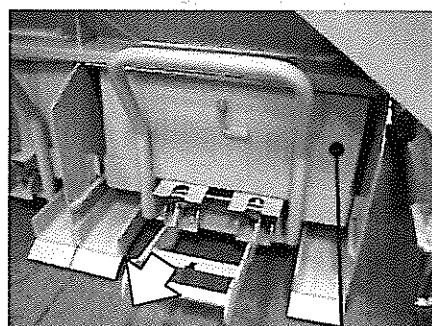
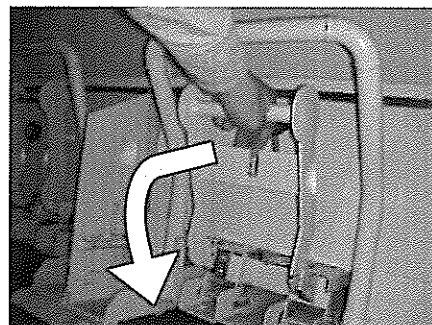
- ☆作業中は必ず電源を切ること。
- ☆粉塵を排出する際には、必ず手袋、防塵メガネ、防塵マスクを着用すること。

手荒れや怪我をする恐れがあります。
粉塵が目や口に入る恐れがあります。

1. ハンドル(①)を固定しているフック(②)を外してください。
2. ハンドル(①)を下に下げてください。
3. ダストカー(③)手前に引出してください。
4. ダストボックス(④)内部のダストをビニール袋と一緒に排出してください。
※ダストカーとダストボックスの隙間にダスト等が入った場合は、ダストボックスを抜き出して清掃してください。
5. ダストカー内部にダストボックスを入れ、下図のようにビニール袋をセットしてください。
※ビニール袋は 1m×1m 程度の物を用意してください。

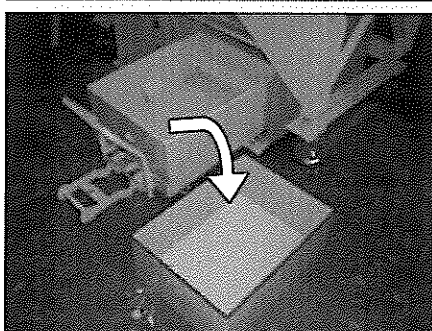


①ハンドル ②フック

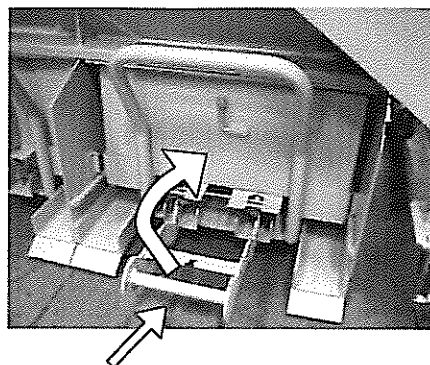


③ダストカー

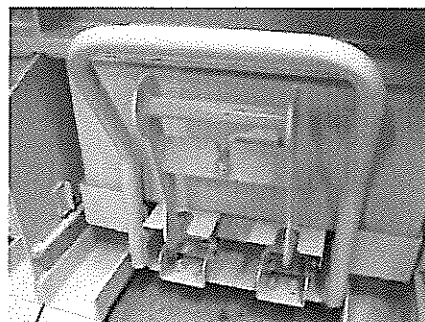
④ダストボックス



6. ダスター(③)を奥まで入れてハンドル(①)を引き上げてください。



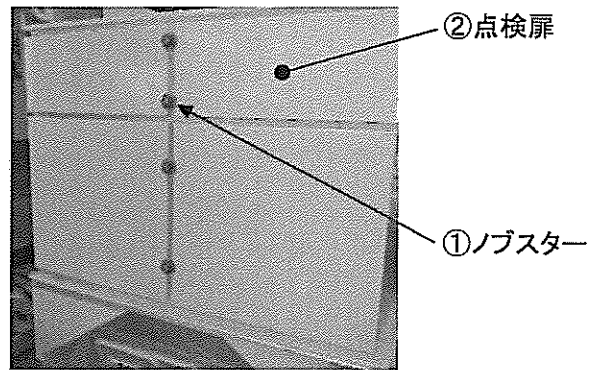
7. フック(②)をハンドル(①)に掛けて、ください。



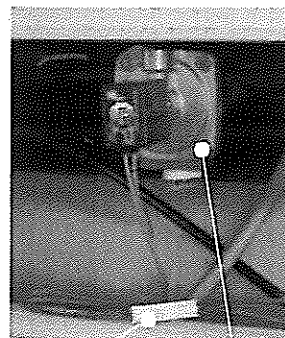
【エアバルブ用ダイヤフラム弁の交換手順】

⚠ 注意

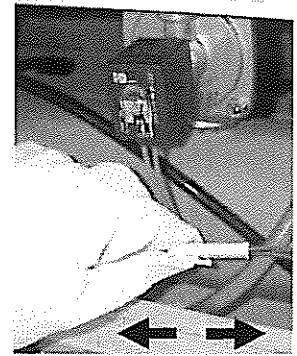
作業中は必ず電源を切ること。
粉塵を排出する際には、必ず手袋、
防塵メガネ、防塵マスクを着用すること。
作業エリア及び足場を確保のこと。
感電する恐れがあります。
手荒れや怪我をする恐れがあります。
粉塵が目や口に入る恐れがあります。



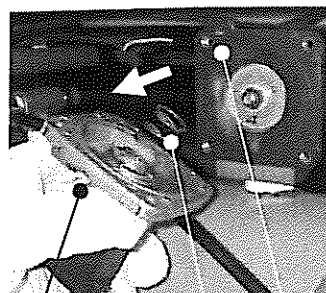
1. ノブスター(①)を緩めて点検扉(②)を開けてください。
2. 電源コネクタ(③)の片側のツメを摘んで外し、エアバルブのボルト(④)をドライバー等で外して、エアバルブケーシング(⑤)を取外してください。
(この時、バネ・位置決め用ピンが機器内部に落ちない様に気をつけてください。)
3. ダイヤフラム弁(⑥)を取り外し、新しいダイヤフラム弁を取付けてください。(この時、バネ・ピンが落ちないように注意してください。)
4. バネ・位置決め用ピンが外れないように注意し、エアバルブケーシング(⑤)を取付け、ボルト(④)を組付けてください。
5. 電源コネクタ(③)を接続してください。
6. 電源を入れ、払い落としの作動を確認してください。
7. 点検扉(①)を締めてノブスターをしっかりと締め込み固定してください。



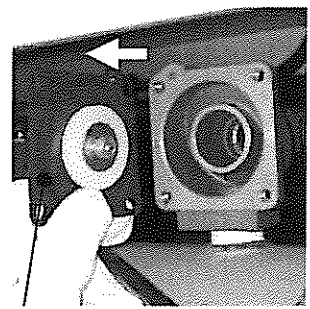
③電源コネクタ④ボルト



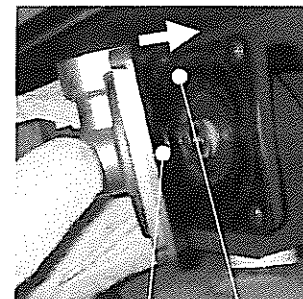
コネクタの取外し



⑤ケーシング バネ ピン



⑥ダイヤフラム弁



バネ ピン

定期点検表

⚠注意

☆必ず注意事項を守って操作してください。(→『重要注意事項』)
 ☆異常を発見した場合は、運転せずに速やかに対策を行ってください。
 (→『故障かな?と思ったら』)

【運転前に確認】

点検箇所	点検の周期	点検項目	点検方法	判定基準
ダストボックス	1回/日	ダストボックス内粉塵堆積の有無	ダストボックス内部を目視	堆積無
エア供給	1回/週	フィルタレギュレータのドレンの有無	ドレンポットを目視	ドレン無
カートリッジエレメント		セルプレート面のダスト異常堆積	点検扉を開けて内部を目視	堆積無
HEPA・チャコールフィルタ		運転時間の確認	操作パネルを開けて運転時間を確認	寿命運転時間内
接続・吸引ダクト	1回/月	接続箇所にゆるみがないか	接続箇所を目視	ゆるみ無
		ダクトが破損していないか	ダクトを外側から目視	破損無
		ダクト内部に粉塵が堆積していないか	ダクト内部を目視	堆積無

点検結果で不良を発見した場合は、集塵機を停止し、下記に従い処置を行なってください。

点検箇所	点検結果 不良内容	処置内容	処置時の注意
ダストボックス	堆積有	堆積粉塵を除去	設備停止 粉塵 挟まれ
エア供給	ドレン有	ドレン抜き	エア噴出
カートリッジエレメント	カートリッジエレメントの破損有	カートリッジエレメント取替 状況により、HEPA フィルタ・チャコールフィルタ取替	設備停止 粉塵 挟まれ
	取付部の外れ	カートリッジエレメント取付部修正 状況により、HEPA フィルタ・チャコールフィルタ取替	
HEPA・チャコールフィルタ	寿命運転時間オーバー	HEPA フィルタ・チャコールフィルタ取替	
接続・吸引ダクト	接続箇所がゆるんでいる	接続箇所をしっかりとめ込む	設備停止 粉塵
	ダクトの破損有	ダクトの補修または交換	
	ダクト内にダスト堆積有	堆積ダストの除去	

【運転時に確認】

点検箇所	点検の周期	点検項目	点検方法	判定基準
ファンモータ	1回/日	普段よりも音や振動が大きくないか	運転音を聴覚	異常音無
排気口		粉塵洩れはないか	排気口を目視	目視不可
吸引状態		吸引状態が正常か (吸引洩れはないか)	吸引部を目視	吸引もれ無
粉塵 排出口		エアーを吸引していないか	粉塵排出口での吸気音の有無を確認	吸気音無
		パルス時、粉塵の吹き洩れはないか	粉塵排出口を目視	吹き洩れ無
点検結果で不良を発見した場合は、集塵機を停止し、下記に従い処置を行なってください。				
点検箇所	点検結果不良内容		処置内容	処置時の注意
ファンモータ	ファンインペラに異物付着		ファンインペラの清掃を行う	設備停止 粉塵 挟まれ
	ファンモータ軸受の摩耗、破損		モータ交換	設備停止 感電
排気口	カートリッジエレメント・HEPA フィルタ・チャコールフィルタの取付部の外れ又は破損有		取付部の修正 状況により HEPA フィルタ・チャコールフィルタ取替 破損したエレメント又はフィルタの交換	設備停止 粉塵 挟まれ
吸引状態	HEPA フィルタ・チャコールフィルタの目詰まり		HEPA フィルタ・チャコールフィルタの交換	設備停止 粉塵 挟まれ
	カートリッジエレメントの目詰まり、又は払い落とし不良により圧力損失上昇		カートリッジエレメントの交換 払落とし装置の補修または交換	
	ダクト内にダスト堆積有		堆積ダストの除去	
粉塵 排出口	エアーを吸引している		パッキンを交換	設備停止 粉塵 挟まれ
	粉塵が吹き出している			

※日常の運転状態を把握しておくことが、異常の早期発見につながります。

※異常なまま運転を続けると、本機ばかりでなく接続されている他の装置にも影響を及ぼす恐れがありますので、異常を発見した場合は直ちに運転を停止してください。

※「処置時の注意」の語句は、p.36・37「用語の説明」をご参照ください。

■故障かな?と思ったら

▲注意

異常を感じたら、直ちに運転を停止させてください。

現象	原因	対策	対策時の 注意事項
排気口から粉塵が見える (※注1)	○エレメント・HEPA フィルタ・ チャコールフィルタの破損、 取付け不良又は、パッキンの 破損	○破損したエレメント・フィルタを 交換する(p.16、17) ○正しく取り付け直す ○パッキンを交換する ※必要によりフィルタの交換 (p.17)	設備停止 粉塵 挟まれ
異常音、異常振動が 発生している	○ファンインペラに異物付着	○ファンインペラの清掃を行う エレメントの点検を行う	設備停止 粉塵 挟まれ
	○ファンモータ軸受の摩耗破損	○交換・取換え	設備停止 挟まれ
	○ファン取付けボルトのゆるみ	○締め直し	
スイッチを入れても 動かない	○スイッチ不良	○修理・交換する	設備停止 感電
	○ファンモータ異常	○修理・交換する	
	○電源コード断線	○交換する	設備停止
	○インバーター電子のサーマル が作動している	○原因を取除き、「INV リセット」 を押す(p.24)	
スイッチを入れてもコンプレッサ が動かない	○スイッチ不良	○修理・交換する	設備停止 感電
	○コンプレッサ異常	○修理・交換する	
	○電源コード断線	○交換する	設備停止
	○コンプレッサのサーマルが トリップしている	○原因を取除き、サーマルを リセットする(p.25)	
スイッチを入れた途端、 ブレーカがトリップした	○2次電気配線の短絡	○結線を直す	設備停止 感電
	○機器の短絡	○原因を取除く	
運転が停止した	○ファンモータの過負荷 による停止	○原因を取除く	設備停止
ジェット部で エアがもれている (ヘッドパイプ内圧力低下)	○エアバルブのダイヤフラム 破損	○ダイヤフラムまたはスプリン グの交換	設備停止 残圧
	○パイロットバルブ内の異物に よる詰まり	○分解、清掃	
	○継手部やナイロンチューブか らのエアもれ	○継手、ナイロンチューブの交 換	
吸引力が低下した	○エレメントの払い落とし 効果が悪い	○払い落としサイクルの調整 ○パルスエア圧力の調整	設備停止 感電 エア噴出
	○エレメントが湿っている	○湿りの原因を取除く	設備停止 粉塵 挟まれ
	○粉塵再飛散による圧損上昇	○堆積した粉塵の排出 (p.18、19)	
	○エレメントの目詰まり	○エレメントの交換(p.16)	
	○HEPA フィルタ・チャコールフイ ルタの目詰まり	○HEPA フィルタ・チャコールフイ ルタの交換(p.17)	
	○接続・吸引ダクトに粉塵が堆 積している	○ダクトの清掃	
ダストカーから運転中に空気を 吸込む音がする	○セッティングユニットの故障	○セッティングユニットの修理・ 交換	設備停止 粉塵 挟まれ 堆積物
	○パッキンの寿命	○パッキンの交換	

※「対策時の注意事項」の語句は、p.36、37「用語の説明」をご参照ください。

【インバーター内電子サーマルのリセット手順】

インバーター内電子サーマル作動(モーターの過負荷異常)により、モーターが停止したときは、下記の手順に従ってリセットしてください。

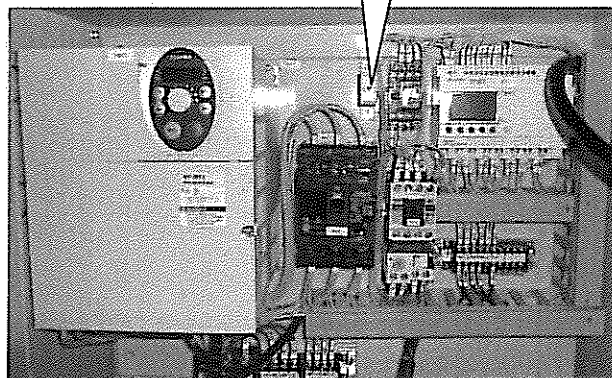
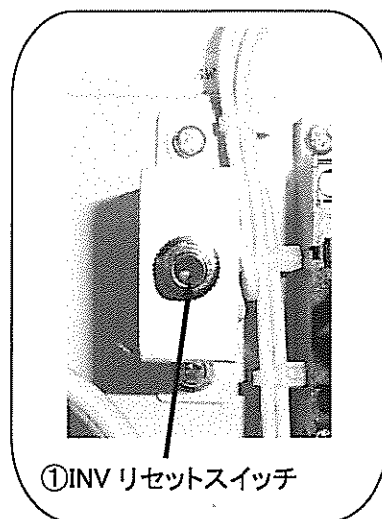
⚠警告

濡れた手で電源を接続、取り外しをしないこと。

⚠注意

必ずブレーカを切り、ファンが完全に停止してから行うこと。

1. 操作パネルを開けてください。
2. 「INV リセット」スイッチ(①)を押してください。
3. 操作パネルを閉めてください。
4. 操作パネルの『送風機-運転』スイッチを押してください。
5. しばらく運転し、電子サーマルが作動しないことを確認してください。



※ 「INV リセット」スイッチを押してもリセットされない場合は、インバーターの故障が考えられます。この場合、または電子サーマルがたびたび作動する場合は、お買い求めの販売店または弊社支店・営業所までお問い合わせください。

【コンプレッササーマルトリップのリセット手順】

コンプレッサ用電磁開閉器のサーマルトリップ(モーターの過負荷異常)により、コンプレッサが停止したときは、下記の手順に従って解除してください。

⚠ 警告

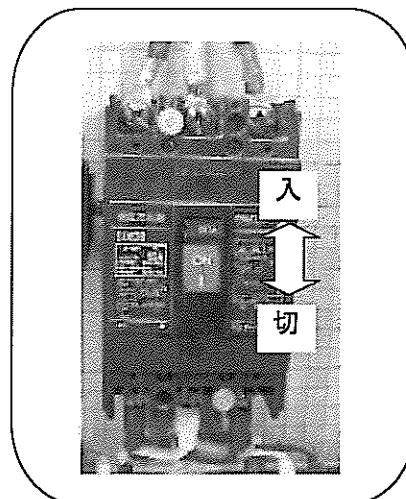
濡れた手で電源を接続、取り外しをしないこと。

⚠ 注意

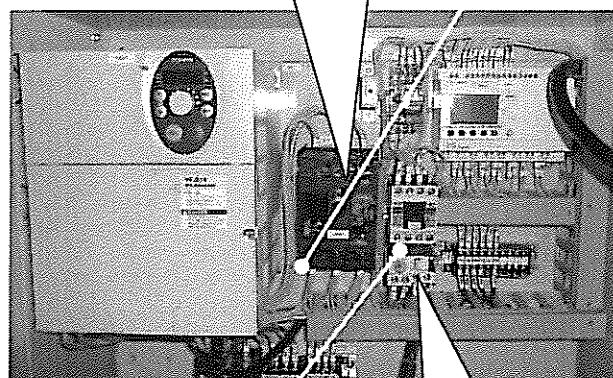
必ずブレーカを切り、コンプレッサが完全に停止してから行うこと。

1. 操作パネルを開けてください。
2. 安全のため、ブレーカ(①)をきってください。
3. 電磁開閉器(②)のリセットボタン(③)を押してください。
4. ブレーカーを入れてください。
5. 操作パネルを閉めてください。
6. 操作パネルの『コンプレッサ』セレクトスイッチを「ON」、『パルス』セレクトスイッチを『OFF』にしてください。
7. 『機器』セレクトスイッチを「手動」にしてください。コンプレッサが起動します。
8. しばらく運転し、サーマルトリップが発生しないことを確認してください。

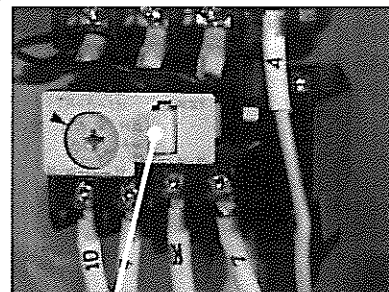
※ サーマルリセットしても復帰しない場合、またはサーマルトリップがたびたび発生する場合は、お買い求めの販売店または弊社支店・営業所までお問い合わせください。



①ブレーカ



②電磁開閉器



③リセットボタン

■消耗品について

▲注意

☆部品は、当社で製造又は当社の承認したものを使用してください。
 ☆指定以外の部品を使用して発生した事故については、当社は
 一切の責任を負いかねます。

【消耗品一覧】

名称	品番	予想寿命	交換時の注意	交換しない場合に 予想されること
カートリッジエレメント	FXN-4080CG/001	2000 時間	設備停止 粉塵 挟まれ	粉塵もれ 吸引不足
同上用パッキン (※注1)	FXN-4B/0060	2000 時間		
点検扉用パッキン	機械型式をご連絡ください	1年		
パイロットバルブ一体型エアバルブ	VXF2160-06-G-X162	4年	設備停止 残圧	吸引不足
上記エアバルブ用ダイヤフラム	DXT465-81-3A-X69	1年	挟まれ	
アトモスパーフェクタフィルタ	ATM31-P-D	2000 時間	設備停止 粉塵 挟まれ	粉塵もれ 吸引不足
チャコールフィルタ	CH-Z	2000 時間	設備停止 粉塵 挟まれ	吸引不足
電気配線加工図	FXN-6C0-009/0050	1年	設備停止 感電	吸引不足 設備停止
電気配線加工図	FXN-6C0-009/0053A	1年		
エアホース	φ8x5m	1年		

- * 予想寿命は、あくまでも目安です。運転状態によって大きく変わる場合があります。
- * 予想寿命値の年表示は、集塵設備の『8時間/日×250日稼働』を1年と想定しています。
- * エレメント圧は、あくまで集塵機運転状態の目安です。吸引風量が低下したら、エレメントの点検・清掃を実施し、回復しない場合は寿命とご判断ください。
- * エレメントは個別案件にて品番を変更している場合があります。
- * 部品は予想寿命を目安にして交換してください。また、下表の「交換しない場合に予想されること」が起こった場合には、すみやかに設備を停止し部品を交換してください。
- * 部品交換時はメイン電源を「OFF」としてください。
- * 「交換時の注意」、「交換しない場合に予想されること」の語句は、p36・37「用語の説明」を参照ください。

※注1. カートリッジエレメントには、納入時に標準でパッキンが付属します。

【消耗品の処理】

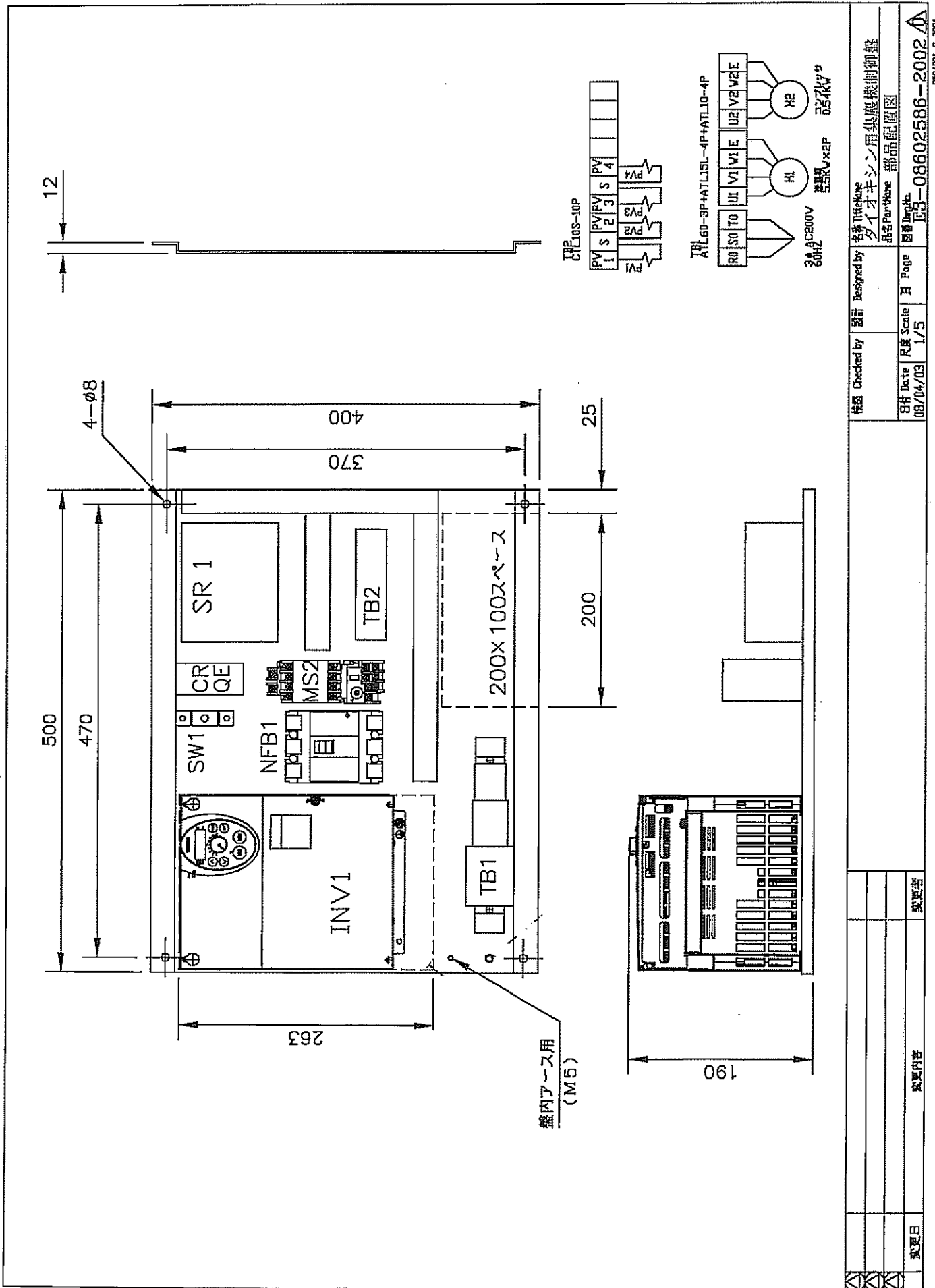


☆使用済みの消耗部品は、各自治体の定める廃棄方法に従って処理してください。

■使用部品について

名称	品番	メーカー	交換時の注意	交換しない場合に 予想されること
カートリッジエレメント	FXN-4080CG/001	新東工業	設備停止 粉塵 挟まれ	粉塵もれ 吸引不足
同上用パッキン	FXN-4B/0060	新東工業		
点検扉用パッキン	機械型式をご連絡ください	新東工業		
パイロットバルブ一体型エアバルブ	VXF2160-06-G-X162	新東工業	設備停止 残圧	吸引不足
上記エアバルブ用ダイヤフラム	DXT465-81-3A-X69	新東工業	挟まれ	
アトモスバ-フェクタフィルタ	ATM31-P-D	サカ工商行	設備停止 粉塵 挟まれ	粉塵もれ 吸引不足
チャコールフィルタ	CH-Z	サカ工商行	設備停止 粉塵 挟まれ	吸引不足
ターボファン	SKV7.5-25-6	新東工業	設備停止 挟まれ	吸引不足 設備停止
スーパ-オイルフリーベ-ピコン	0.4LE-8T/200V/220V	日立製作所	設備停止 感電 残圧	設備停止
小型風調ダ-ンバ	VD-300FF	ダイエー	設備停止 粉塵 挟まれ	吸引不足
小型風調ダ-ンバ	VD-150F	ダイエー		
ダ-クトホ-ス D型	φ300			
フィルタレギ-ュレータ	AW20-02E-R	SMC	設備停止 残圧	吹き出し
ド-レンバルブ	BD-1200	アソウ		
差圧計ホ-ックス	DIS/P750	新東工業	設備停止	吸引不足
プ-レス大型自在キャスタ-	K-52S-150	タキケン	設備停止 挟まれ	設備停止
プ-レス固定キャスタ-	K-420R-65-UR	タキケン		
プ-レス大型自在キャスタ-	K-52S-100	タキケン		
セツトカラー	SCCN25-12	ミスミ	設備停止 挟まれ	

※ 制御機器については制御盤図面を参照ください。



検図 Checked by	設計 Designed by	名義 Niteko	多イオキシン用集塵機制御盤
日付 Date	尺度 Scale	頁 Page	部品配置図
08/04/03	1/5		
変更日	変更内容		

0804001-4-2001

図番 08602586-2002

No	接点1	接点2	接点3	接点4	接点5	コイル	コメント
001	I1					[Q5	Q5:異常ランプ 送風機INV異常 コンプレッササーマルトリップ 逆相リレー (CR-QE) ON
002	I2					異常PL	
003	IA						
004	IA					TXF	逆相異常 表示 **** ERROR **** <Reversed Phase>
005	IA					RXF	逆相検知リレーOFFで 異常表示がリセットされる
006							
007	I3	I4				TT6	自動セレクト 0.5SEC確認
008	I3	I4				TT7	手動セレクト 0.5SEC確認
009							
010	I5	I6	T6	I1	IA	[Q6	INVへ送風機運転出力(Q6) 起動PB押しでON、停止PB押しでOFF 動作条件: サーマル正常+逆相検知無し
011	G6		T7				
012	I9	I1				[Q7	INV異常時リセットPB:ONでインバータへRES出力
013							
014	G6	T6		IA	I2	[Q8	コンプレッサ運転出力(Q8) 自動モード:送風機と同期 手動モード:コンプレッサON選択でON 動作条件: サーマル正常+逆相検知無し
015	I7	T7					
016							
017	G6	T6	t2			TT1	パルス時間(0.15SEC)
018	I8	T7	t1			[M1	
019			T1			TT2	パルス間隔(30SEC)
020						TT3	パルス間隔時間 パルスカウント(5SEC)

No	接点1	接点2	接点3	接点4	接点5	コイル	コメント
021	T3					CC1	パルスカウンタ(C1=4)
022	パルスカウント					TT4	カウンタリセット時間(1SEC)
023	C1					パルスリセット	カウンタリセット
024	T4					RC1	カウンタリセット
025	パルス補助	V1				[Q1	PV1:ON (Q1) V1はC1の現在値が0のときON
026		NO.1パルス選択	V2			[Q2	PV2:ON (Q2) V2はC1の現在値が1のときON
027		NO.2パルス選択	V3			[Q3	PV3:ON (Q3) V3はC1の現在値が2のときON
028		NO.3パルス選択	V4			[Q4	PV4:ON (Q4) V4はC1の現在値が3のときON
029		NO.4パルス選択				NO.4パイロットバルブ	
030	送風機運転	TD				TTD	
031		0.5秒クロック				0.5秒クロック	C8設定値(3600)
032	C8					[MT	
033	1時間タイマー					1時間タイマー	
034		MT				1時間カウント	C9設定値(30000)
035		1時間カウント				送風機運転 積算時	
036	Z3	Z4				TTE	Z3+Z4 3秒押し:積算時間リセット
037	積算時間リセット補...表示...積算リセットP...					積算時間リセット	
038	積算時間リセット					RC8	1時間タイマーリセット
039	MT					1時間タイマー	
040	1時間カウント					RC9	30000時間タイマーリセット
041	積算時間リセット					送風機運転 積算時	
042	q5	tF				TXG	送風機積算運転時間表示 FAN RUN TIME (hr) 9の現在値表示をします
043	異常PL	パラメータ変更モードON				送風機運転積算時	
044	パラメータ変更モードON					RXG	パラメータ変更モード時と異常発生中は 積算時間表示OFFします
045	異常PL					送風機運転積算時	

No	接点1	接点2	接点3	接点4	接点5	コイル	コメント
041							
042	Z1	z4				TTF	Z1 5秒押し:パラメータ変更モードON Z4 押し:パラメータ変更モードOFF
043	TF						パラメータ変更モードON
044	Z1	TF				CCB	
045							Z1押し1回カウンタ CCC
046							Z1押し2回カウンタ CCD
047							Z1押し3回カウンタ CCE
048							Z1押し4回カウンタ CCF
049							Z1押し5回カウンタ CCG
050	CB	cC				TX1	T1-T3/パラメータ変更 画面表示
051	Z1押し1回カウンタ	Z1押し2回カウンタ				TX2	T4,T6,T7/パラメータ変更 画面表示
052		GC	cD			TX3	C1-C3/パラメータ変更 画面表示
053		Z1押し2回カウンタ	Z1押し3回カウンタ			TX4	
054		OD	cE			TX5	
055		Z1押し3回カウンタ	Z1押し4回カウンタ				タイム設定値表示1 タイム設定値表示2 タイム設定値表示3 タイム設定値表示4 タイム設定値表示5
056		cB	CE	cF			[MV
057		Z1押し1回カウンタ	Z1押し4回カウンタ	Z1押し5回カウンタ			カウンタ リセット リレ
058		CD					RCB
059	MV	Z1押し3回カウンタ					Z1押し1回カウンタ RCC
060	カウンタ リセット リレ Z4						Z1押し2回カウンタ RCD
061	表示、積算リセットP.						Z1押し3回カウンタ RCE
062							Z1押し4回カウンタ RCF
063							Z1押し5回カウンタ

№	接点1	接点2	接点3	接点4	接点5	コイル	コメント
061						RCG 	
062	cB 					RX1 	
063	Z1押し1回カウンタ					タイマ設定値表示1 RX2 	
064						タイマ設定値表示2 RX3 	
065						タイマ設定値表示3 RX4 	
066						タイマ設定値表示4 RX5 	
067	TF 					タイマ設定値表示5 TTG 	1SECロック
068	パラメータ変更モードON CB 					点滅リレー 	
069	Z1押し1回カウンタ CB 						
070	送風機運転 積算時 IA 						
071	コンプレッサ逆相接続 TG 					TL1 	バックライト点滅
	点滅リレー						

用語の説明

あ	
エア一噴出	エア一機器の調整時、ドレン排出時はエア一が機器より吹き出る場合がありますので、吹き出るエア一に注意ください。
エア一もれ	機器の破損等によりエア一漏れが発生します。エア一漏れにより、必要エア一量が確保できず、機器の作動不良が発生します。 エア一の漏れ量によっては、他の設備用エア一にも影響します。
か	
開閉不能	扉の開閉が出来なくなり、点検や部品交換ができなくなります。
感電	制御盤、電気配線を点検、配線工事をする場合には感電に注意ください。 作業は有資格者が行ってください。
吸引不足	ろ布圧力損失の上昇やダンパの故障による煙道封鎖により、吸引箇所での吸引力が不足し、作業環境が悪化する恐れがあります。 また、吸引ダクトの穴あき、ダクトの外れ、ダクト内の粉塵堆積等でも吸引箇所での吸引力不足となります。 ろ布の圧力損失の原因には以下のようなことが考えられます。 ・パッキンの劣化等により雨水が浸入し、ろ布が濡れる。 ・払い落とし機器の不良により払い落としが不完全。 ・ろ布の目詰まり。 ・集塵機内に粉塵が堆積し、ろ布が粉塵に埋もれる。 ・含塵濃度、吸引風量の増大。
給油脂量	給油：油を入れ過ぎないように注意ください。 給脂：機器固有の給脂量を充填ください。
固着	パッキンの劣化やシャフト等の貫通部のシール不良により、雨水の浸入や冷気の流入による結露によって、粉塵が設備内で固着します。
混練不能	部品の破損等により機器に異常が発生し、粉塵の混練ができなくなります。 また、粉塵の排出もできなくなります。 散水ができない場合は、乾粉のまま排出され、大気へ粉塵が放出されます。
混練不良	散水量の不足または過剰により正常な混練ができなくなります。
さ	
残圧	タンクや配管内にエア一圧力が残ったまま、作業を行うと危険です。 作業前に元バルブの「閉」を確認後、配管やタンク内のエア一を抜き、配管内に残圧がない事を確認してください。
酸欠	酸素不足により酸素欠乏症となる恐れがあります。酸素欠乏が予想される場所での作業時は、作業前に内部換気を十分に行ってください。 また、作業場所へ入る前に酸素濃度を検知器にて測定し、安全であることを確認してください。作業中は検知器を常に携帯し、異常があった場合には速やかに作業場所から退避してください。
水滴飛散	水滴が排気口より放出され、周辺に影響を与えます。
設備停止	運転中に部品交換を行うと危険です。 設備が停止した状態で作業してください。
操作禁止	点検、部品交換等作業時は制御盤のメイン電源をOFFとし、制御盤面には「操作禁止札」を掲示、もしくは「キースイッチ」付きの場合は、作業責任者が「キースイッチ」を携帯、管理願います。

た	
堆積物	設備内に粉塵が堆積している状態で点検扉を開けたり、機器を取り外しますと、粉塵が大気中へ飛散、または人体へ降りかかる危険があります。ダスト性状によっては火傷の恐れがありますので、ホッパ内の粉塵は作業前に排出装置を運転し、排出してください。
転落	高所での作業のため、転落の危険があります。 安全帯の使用等、転落防止の対策をとってください。
は	
排出不能	粉塵の固着、機器の破損等により排出装置に異常が発生し、粉塵の排出ができなくなります。
挟まれ	扉等可動部や重量物により体が挟まれる恐れがあります。 扉等可動部は固定し、重量物は落下防止の処置をしてから作業をしてください。
吹き出し	パッキンの劣化やシャフト等の貫通部のシール不良により、設備内部より粉塵が漏れる、または、吹き出します。
腐食	パッキンの劣化やシャフト等の貫通部のシール不良により、雨水の浸入や冷気の流入による結露によって、設備が腐食します。
粉塵	粉塵を吸込んだり、粉塵が目や肌に触れけがをします。防塵マスク、防塵めがね、エアラインマスクなどの保護具を作業環境に応じて使用ください。
粉塵もれ	ろ布の破損、取付け不良やセルプレートのシール不良等により粉塵が排気口から大気へ放出され、環境汚染が発生します。湿式の場合は、スプレー不良、水位調整不良等により粉塵が排気口から大気へ放出されてしまいます。 ろ布破損の原因としては、以下のようなことが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・破損部品との接触。 ・集塵機内に粉塵が堆積し、ろ布が粉塵に埋もれる。 ・払い落とし回数の過多。 ・ろ布の磨耗。 ・ろ布の強度劣化。
ま	
巻き込まれ	運転中は巻き込まれの危険があるので、可動部に触れないようにしてください。 また、衣服等の巻き込まれにも十分注意してください。
水抜き	作業前に元バルブの「閉」を確認後、配管や貯水部の水を抜いてください。
水もれ	設備、配管等から水が漏れ、周囲が水浸しになります。
や	
火傷	ヒータによる加熱や高温ガスの吸引により、高温となる部分がありますので、高温部には触れないよう注意してください。
有害ガス	一酸化炭素等の有害ガスにより有害ガス中毒となる恐れがあります。 有害ガスの存在が予想される場所での作業時は、作業前に内部換気を十分に行ってください。また、作業場所へ入る前に一酸化炭素等の有害ガスを検知器にて測定し、安全であることを確認してください。作業中は検知器を常に携帯し、異常があった場合には速やかに作業場所から退避してください。
ら	
落下	ろ布や機器を破損、場合によっては人身事故となる恐れがありますので、工具や物等を落さないでください。

■お問い合わせ・保証について

【使用中に異常を感じたとき】

1. 速やかに電源を切り運転を停止した後、まずは本書をよく読み、点検・対策を行ってください。
(→『故障かな?と思ったら』)
2. それでも解決しない場合は、ご自分で修理せず、お買い求めの販売店または弊社技術部
・支店・営業所までご相談ください。
ご相談の際には、以下の内容についてお知らせください。
 - ・製品名(ごみ焼却炉清掃用集塵機)、弊社製作番号(装置前面パネルに表示の8桁の番号)
 - ・異常の内容:出来るだけ具体的に詳しくお知らせください。
 - ・貴社名、担当者様ご氏名、電話番号

【消耗品を交換したいとき】

- お買い求めの販売店または弊社技術部・支店・営業所までお知らせください。
ご連絡の際には、以下の内容についてお知らせください。
- ・製品名(ごみ焼却炉清掃用集塵機)、弊社製作番号(装置前面パネルに表示の8桁の番号)
 - ・交換したい消耗品の品名、型番、数量
 - ・貴社名、担当者様ご氏名、電話番号



製品の性能を維持し、安全にご使用いただくためにも
消耗品・交換部品は弊社純正部品をご使用ください。

- ※その他、ご不明な点、お気付きの点などありましたら、弊社までご連絡ください。
※『FAX お問い合わせフォーム』をご用意しました。ご利用ください。

【保証について】

- ・保証期間は購入日より1年間です。ただし、保証期間内でも有償修理となる場合があります。
- ・保証期間後は原則的にすべて有償修理となります。
- ・消耗部品等の保有期間は、生産終了後6年間です。

